

発言

～みんなの声～

元がん患者の会 来年も

松田 信子 美容器具販売業

(名古屋市中村区) 75歳

愛知県がんセンターで35年前に入院した患者同士の食事を6月、名古屋市内のホテルの料亭で催しました。当初のメンバー十数人で、自分

たちの余生を華やかに生きようと考えて「華の会」と名付け、年に1回食事を開いてきました。亡くなった人もおり、今回、体調を崩した人もいて出席者は私も含め6人でし

た。今は開業医として活躍する私のかつての主治医も来てくれました。家族や趣味、体調といった近況報告が中心でしたが、和気あいあいとした雰囲気でした。

思い返せば、子宮がんの手術をすることになり、同室の患者仲間が陰に陽に励ましてくれたおかげで今の自分がある気がします。来年も華の会に参加すべく、健康には最大限留意したいです。

散歩楽しくなってきた

谷口 新二 無職

(岐阜県可児市) 75歳

7年続けた地元運動公園でのアルバイトを4月いっぱいまでやめたのを機に、妻の勧めもあって健康目的で夕方の夫婦散歩を始めた。「それほど苦にならないだろう」と思いきや、実際やってみると30分歩くだけ

は何度も立ち止まった。腰に着けた歩数計の数値はなかなか増えない。そこで、歩くことに自分なりの楽しみを見つけるようにした。道端の花を探したり、景色を楽しんだり…。そうこうするうちに疲労感は次第に薄れていくから不思議だ。

散歩しだして3カ月目に入った。